

**日本パスタロッチャー・フレーベル学会**  
**第37回大会 プログラム**  
**2019年9月7日(土)・8日(日)**  
**福岡大学文系センター棟**

**I 日程**

9月7日(土)		9月8日(日)	
全国理事会	10:30~12:00	受付開始	8:30~
受付開始	12:30~	自由研究発表Ⅱ	9:00~12:10
自由研究発表Ⅰ	13:00~15:20	総会	12:10~13:10
シンポジウム	15:30~18:00		
懇親会	18:10~20:00		

**II 会場・発表時間**

全国理事会	福岡大学文系センター棟15階第7会議室
理事控え室	福岡大学文系センター棟15階第7会議室
自由研究発表	福岡大学文系センター棟15階第5会議室
会員控え室	福岡大学文系センター棟15階第6会議室
総会・公開シンポジウム	福岡大学文系センター棟15階第5会議室
懇親会	福岡大学文系センター棟15階第7会議室

【発表時間】自由研究発表は、1人25分、質疑応答5分です。  
 大会会場住所は、下記の大会事務局住所と同一です。

**III 大会参加費・懇親会費**

大会参加費は、会員4,000円、学生会員2,000円、非会員2,000円(1日参加:1,000円)  
 懇親会費は、一律5,000円です。  
 大会当日、受付にてお支払い下さい。

**IV 大会事務局**

日本パスタロッチャー・フレーベル学会 第37回大会実行委員会

〒814-0180 福岡市城南区七隈8丁目19-1

福岡大学人文学部 勝山研究室

E-Mail: pesfre2019@yahoo.co.jp

TEL: 092-871-6631(内線3812)

FAX: 092-871-6654(人文学部事務室)

委員長: 勝山吉章(福岡大学)

委員: 江玉睦美(東九州短期大学) 寺岡聖豪(福岡教育大学) 船越美穂(福岡教育大学) 松園聡美(中村学園大学短期大学部) 松原岳行(九州産業大学)

実行委員会幹事: 高橋潤子(九州情報大学(非))

**V 食堂等** : 7日(土)は校内食堂(一部)が開いています。8日(日)は病院の食堂が開いています。

第1日目 9月7日(土)

<自由研究発表 I > 文系センター棟第5会議室(13:00~15:20)

司会 寺岡聖豪(福岡教育大学)  
江玉睦美(東九州短期大学)

13:00~13:30

オーストラリアにおける幼児教育カリキュラムの実践事例の検討

椋木香子(宮崎大学)

13:30~14:00

1850年~70年代の英・米における恩物積木の初期受容ーロンゲおよびクラウス夫妻の書籍を手がかりにー

野尻美枝(立教女学院短期大学)

14:00~14:30

Fr.フレーベル「媒介学校」論考にみる遊戯と教授の関連

松村納央子(山口学芸大学)

14:30~15:00

システムとしてのコミュニティーについてのー考察ーペスタロッチーの『リーンハルトとゲルトルート』を手掛かりとしてー

濱田栄夫(山陽学園大学(名))

15:00~15:20

総括討議

<公開シンポジウム> 文系センター棟第5会議室(15:00~18:00)

<懇親会> 文系センター棟第7会議室(18:10~20:00)

第2日目 9月8日(日)

<自由研究発表Ⅱ> 文系センター棟第5会議室(9:00~12:10)

司会 船越美穂(福岡教育大学)  
松園聡美(中村学園大学短期大学部)

9:00~9:30

E・ヘールヴァルトのストックウェル・カレッジにおける幼稚園と教員養成の実際

田岡由美子(龍谷大学短期大学部)

9:30~10:00

E・ヘールヴァルト『フレーベルの晩年 死と埋葬』にみるフレーベル及び周囲の人々のキリスト教信仰

畠山祥正(茨城キリスト教大学)

10:00~10:30

東基吉のフレーベル研究と保育内容・方法改革

湯川嘉津美(上智大学)

<休憩> 10:30~10:45

10:45~11:15

倉橋惣三のナショナリズムー総力戦体制下における「国民幼稚園」論のポリティクスー

浅野俊和(中部大学)

11:15~11:45

人間教育に欠かせない文化活動ー共に生きるということの教育ー

本田功(元東京都小学校長)

11:45~12:10

総括討議

<総会> 文系センター棟第5会議室(12:10~13:10)

## <公開シンポジウム>

司会 小川哲哉(茨城大学)  
松原岳行(九州産業大学)

テーマ:ペスタロッチー・フレーベルとこれからの教育実践

テーマ設定の趣旨:言うまでも無くペスタロッチーやフレーベルは教育実践家である。彼らはまた、キリスト教的人間観や世界観、深遠な哲学的教養、当時の社会状況に対する批判的視点に裏打ちされた実践家でもある。本学会は創設以来、ペスタロッチーやフレーベルの教育思想および国内外の乳幼児教育や学校教育などを探究しながら、ひろくその成果が教育実践に寄与することを目標としてきた。結果、教育の実践家に一定の影響を与えてきたと自負できるものもあるが、まだまだ芯から実践家に訴えうるものを提供してきたとはいえない。近年、教員養成系大学を中心に、旧来の大学院教育学研究科に代わって、より教育実践を重視する教職大学院が設置されている。この教職大学院の必修科目に、ペスタロッチーやフレーベルに関する講義が含まれていないことが多いのは、本学会がまだまだ社会的にその使命を果たしていない証左とも言える。

そこで本学会第37回大会においては、学会創設の目標であった、教育実践に寄与するペスタロッチーやフレーベル研究とよくなるものであり、本学会はいかなる方向性を打ち出して行くべきかを論じたい。

シンポジスト:

和田晋氏(広島市教育委員会主事・元中学校長/2018年広島大学ペスタロッチー教育賞受賞者)  
「教育現場に生きるペスタロッチーの精神」

学生時代にペスタロッチーを愛読した和田氏は、中学校に勤務するや、ペスタロッチーの愛の精神で問題を抱えた子どもに寄り添い、「夜廻り」などを行ってきた。また学校では授業改善を行って子どもたちの基礎学力を向上させてきた。そこにはペスタロッチーの愛の精神と基礎陶冶に基づく確かな学力観があった。ペスタロッチーに学ぶことが、現在の学校現場にどのように生かされるかについて提言していただく。

小笠原道雄氏(広島大学名誉教授)  
「フレーベル研究のこれから」

本学会の理事を長く務めた小笠原氏は、常に教育現場の実践家との協同を訴えてきた。とりわけ、海外の幼児教育実践家が国際フレーベル学会などで積極的に報告し、フレーベル理論をもとに教育実践の在り方を問うている姿勢を見習うべきだと発信してきた。本シンポジウムでは、21世紀における日本型のフレーベル研究と教育実践のコラボレーションの在り方について提言していただく。

発言者:

鳥光美緒子氏(中央大学)「二人の提言を受けて」

和田・小笠原両氏の提言を受けて感想や質問を述べるとともに、実践と研究の在り方について、発言していただく。